

事業所名

うさぎと亀

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

11日

法人（事業所）理念

- ・一期一縁
- ・穏やか
- ・優しさ

支援方針

「生きる力」「生きる術」「生きやすさ」の3つをコンセプトに誰もが「居心地のいい居場所」を確立、確保することが出来る様に支援の提供を実施。
 生きていく上で必要となる生活スキルの習得を根幹においた上で、自身の心と体の安全を確保する事が出来る様に正しい情報理解と自己覚知、自己決定をサポートしていく。
 また子ども達の将来を見据え、困った時に他者に尋ねる事が出来る様、自身を取り巻く人や物への興味関心を広げ、楽しさと安心感の中、人との繋がりに導いていきたい。
 「等しくチャレンジできる」をモットーに多様な経験に触れ、個々に潜む可能性の発見と五感への刺激を促し、ワクワクと楽しさを増やし心身の健やかな成長をサポートしていく。
 一人一人が成長していく過程で、子ども達、ご家族にとってのベストな生活、居心地のいい環境と生活を送る事が出来る様に本人と保護者様の現在と未来像に寄り添っていく。

営業時間

9時

30分から

18時

30分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支援内容

健康・生活

- ・健康状態の把握（バイタルチェック、生活リズムの維持・向上）。
- ・自身の体への意識と関心。
- ・基本的な生活スキルの獲得（身辺自立、身辺整理、食育）。
- ・時間や空間の感覚を取得できる様に構造化したレイアウトと掲示、視覚化した具体的支援。
- ・特性に応じた自身のスケジュール管理、マネジメント力のサポート。
- ・季節のイベントと自然活動（心と体の成長促し）。

運動・感覚

- ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上（公園活動、サーキットトレーニング、リズム運動、エクササイズ、マット運動）。（体力、筋力、体幹、関節などの維持向上と予防）
- ・特性や場面に於いて補助用具などの補助手段の活用。（移動能力の向上の為のサポートと交通機関の移動手段、利用なども含む）
- ・保有する感覚の活用（感覚を刺激する活動や遊び。バランスと体幹維持）。
- ・感覚の特性への配慮と対応（環境と空間の調整、感覚の偏りを緩やかにサポート）。
- ・五感を刺激する興味関心の提供（音楽、足裏、指先、パズル）。

認知・行動

- ・情報の正しい理解と正しい処理が出来る様にサポート。
- ・物質の変化と感覚の認知形成（粘土、スライム、絵の具、バランス）。
- ・空間、数、時間などの概念の把握（大小、数量、色、距離などの習得）。
- ・小集団での活動による適切な行動の形成（公共の場、静と動の環境、空間）。
- ・心と体を守る字びと行動。
- ・個々のこだわりや偏食等に対するサポート。
- ・特性から生じる行動面のこだわり、コミュニケーション面におけるこだわりを社会生活を送る上で緩やかにできるよう変換のサポート。

言語
コミュニケーション

- ・特性に応じて言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション、イラストやICTなどを適切に活用して他者との意思伝達の楽しさ、一員の喜びを共有し伸ばしていく。
- ・言語の形成と活用（絵カードによる言語の獲得、言葉と意味のマッチング、言語と行動の習得）。
- ・個別または小集団での特性に応じた読み書き。
- ・集団活動でのコミュニケーション能力の獲得（集団での遊び、余暇活動）。
- ・状況に応じて主体的にコミュニケーションを図る事が出来る様にサポート。（SST含む）
- ・相手の気持ちの理解、受容と自身の想いの言語化、発信、伝達のサポート。

本人支援

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感と信頼感の形成。（アタッチメント形成） ・安心安全な環境とラポール形成。（困った時の他者への発信力サポート） ・模倣行動から小集団での遊びや関わりへと段階を経て、ルールの理解と折り合いをつける力のサポート。（協調性と相互理解）（一人時間と仲間との時間の区別） ・他者への興味関心。（他者理解と自己理解、自己肯定感のひきあげ） ・身近な他者との信頼関係を構築し、維持していく為の行動と感情・情緒コントロール。 ・遊びや体験を通して仲間意識、認め合い、助け合いの関係性構築のサポート。 ・地域交流の機会と確保。 			
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からの安心安定した関係性と信頼関係構築、維持。 ・定期的な面談により保護者様、家族の困り感に早期に気づき解決策を一緒に考えていく。（相談援助） ・ニーズに対して具体的な助言と提案。 ・子どもの特性やライフステージに応じたニーズについての気づきと助言 ・レスパイトケアによる延長支援。 ・保護者様同士の交流の機会の提供。 ・ご兄弟参加型のイベント開催 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先との情報共有、連携 ・移行先との情報共有、連携 ・ご家族へ状況やライフステージに応じた情報提供と提案。 ・地域の中での自立できる時間を徐々に増やしていける様な環境の整備と子どもとご家庭のニーズに寄り添った選択肢の提案。 ・将来を見据えた課題を個々に設定し、保護者様、関係者との連携や情報交換、共有を密に実施していく。 ・具体的な進路、移行先、移行タイミングの提案と相談援助。 ・地域活動への参加。 	
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心とした視点をもとに地域の方との日頃からの関係性構築。 ・お互い様の精神による地域の方、子どもの方にとっての居場所作り。 ・子どもから高齢者までの縦の繋がりをスムーズに開放できる環境と空間作り。 ・関係機関（学校、児童クラブ、医療機関、保健師、児童相談所など）との情報共有と交換、連携。 ・関係機関とのケア会議の開催 ・相談支援事業所、障がい児通所支援事業所における情報共有と連携。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画、勉強会計画の作成と実施により知識と技術の取得。 ・職員のストレスチェックの徹底による意欲低下防止と虐待防止。 ・事業所内における「気づき」の習慣化。 ・事業所内における「なぜ、どうして」の習慣化。 ・事業所内における勉強会実施。 ・外部研修参加の機会と外部講師による勉強会実施。 ・提携心理士による客観的視点と助言による職員の気づきと安定。 ・外部研修への参加や同業他者との意見交換による外部からの刺激促し。 ・開かれた事業所にする事による無意識のスキルアップ向上。 	
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（お正月、花見、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など） ・社会科見学（工場見学、空港見学、新幹線基地見学、買い物学習など） ・自然活動（水活動、公園活動、潮干狩り、園芸など） ・体験、経験（実験、交通機関乗車練習、音楽活動など） ・茶話会 ・エクササイズ（保護者様、地域の方、兄弟などの参加可） 			